

平成 30 年度行財政最適化支援専門部会について

(平成 30 年 6 月 22 日 行政経営課作成)

1 テーマ

「大学との地域連携に係る施策について」

【テーマ選択の理由】

昨年度の行財政経営専門部会において、中間報告の中で東海大学を核とした地域連携への積極的な取組みと施策展開の必要性が提言された。

部会からの意見としては、東海大学と一体となった「まち・つくり（創・造）」を進めるべきであり、本市（特に大根地域）と東海大学との連携強化が図れるような施策展開を求めている。また、「地（知）の拠点」として東海大学と秦野市とのまちづくり協働体制の強化を推進し、これによる大学のまち（仮称「学園都市東海」）の実現に向けた取組みについても提言されている。

秦野市総合計画においても、「大学との連携の推進」はリーディングプロジェクトに位置付けられ、地元の大学が有する豊富な人材や知的財産はまちづくりの重要な要素であり、今後の方向性として人的交流や施設の相互利用などの提携事業に取り組むことが示されている。

また、東海大学では平成 25 年度から地域連携活動『To-Collabo（トコラボ）』プログラムによる全国連動型地域連携の提案』がスタートし、平成 29 年度の採択終了期間まで 5 年間にわたり、「全国連動型地域連携活動」を柱とした全国規模での活動実績がある。このプログラムでは全国各地のキャンパスと自治体とが連携して、地域を志向した教育・研究・社会貢献を進めており、当市も連携自治体の一つとなっている。

以上のような状況を鑑み、本年度のテーマとして選択するもの。

2 平成 29 年度検討テーマ『秦野名水のブランド活用』の具体化について

関係課との打合せを実施

【開催日】平成 30 年 5 月 17 日（木） 第 1 回会議

【出席者】広報課長、環境保全課長、産業政策課長、営業課長

行政経営課長、同課課長代理、同課担当

【内 容】各関係課等における取組みについて情報及び意見の交換

推進体制及び今後の活用戦略等の具体化について検討

3 開催スケジュール（予定）

実施時期	内 容	
第1回 各課照会	6月22日（金） 7月中旬～下旬	本年度評価対象、評価の進め方等について 各課に関連する施策について照会 評価対象とする施策（3～5件程度）の選定
第2回	8月	市の現状・取組み状況について
第3回	10月	個別事業ヒアリング
第4回	11月	最適化についての検討
第5回	12月	報告書案協議
市長報告	平成31年3月	報告書を市長に提出